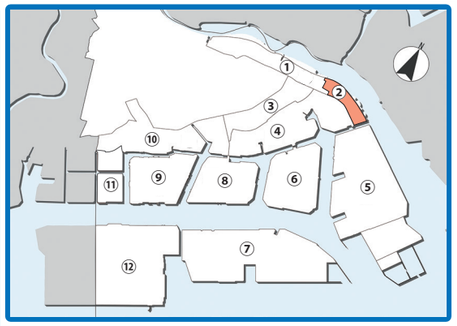
キングスカイフロント地区 2

凡例
- 対象地区範囲
- バス停
- 鉄道駅
- 工業用水道
- 警察署
- 消防署
- 製造（石油・石油化学）
- 製造（石油・石油化学以外）
- リサイクル
- 公共用地
- 物流
- エネルギー
- その他
- 公園等
- 研究開発

SCALE 1/5,000　0 50 100 200m　N



キングスカイフロント東急REIホテル　客室数186室　2018.6開業等
・2018年の開業時より、レゾナックと協力し、環境省の「地域連携・低炭素水素技術実証事業」に5年間参画。
・実証事業が終了し、2023年9月からは明治電気工業製「純水素型定値式FC発電システム」を導入、「水素ホテル」として水素発電を開始。
・1階ﾛﾋﾞｰに、水素発電でﾘｰﾌﾚﾀｽを水耕栽培する設備を設置。ﾋﾞｭｯﾌｪなどで提供（2020.11）

リサーチゲートビルディング（RGB2） 2017.10開業
・4階建ての研究施設（レンタルラボ）
・「慶應義塾大学殿町タウンキャンパス」「東京科学大学」「神奈川県立保健福祉大学大学院」「住友ファーマ」「川崎市キングスカイフロントマネジメントセンター」等が入居

川崎生命科学・環境研究センター（LiSE） 2013.3開業等 約 0.7ha
・大成建設に、市有地を貸付し、同社が建物を建設し、20年間保有・運営。同社は市に1～3階を賃貸するとともに、4階の民間ﾗﾎﾞの入居者を誘致・賃貸
・「アルバコーポレーション」「神奈川県立産業技術総合研究所」「川崎市環境総合研究所」「川崎市健康安全研究所」等が入居

ナノ医療イノベーションセンター（iCONM） 2015.4開業 約0.8ha
・ライフサイエンス分野の拠点形成の核となる先導的な施設として、国の施策を活用し、整備
・産官学が一つ屋根の下に集い、異分野融合体制で、革新的課題の研究及び研究成果の実用化に取り組む施設
・「SBIファーマ」「花王」「日油」「日東電工」等が入居
・川崎市産業振興財団と米国 BioLabs社がインキュベーション事業で事業提携(2022.6)
・文部科学省補助事業に採択（CHANGE）(2022.10)
JST共創の場形成支援プログラムに採択（川崎拠点“CHANGE”）(2022.10)

PDRﾌｧｰﾏ 川崎PETﾗﾎﾞ 2022.3開業等 約 0.3ha
・放射性医薬品および関連製品の研究、開発、製造、販売、輸出、輸入
・富士ﾌｲﾙﾑ富山化学株式会社の放射性医薬品事業を吸収分割により承継、PDRﾌｧｰﾏ（ﾍﾟﾌﾟﾁﾄﾞﾘｰﾑ100%子会社）として事業開始(2022.3)

多摩川スカイブリッジ

CYBERDYNE 2023.1運営開始 約0.4ha
・サイバニクス産業創出のための医療・バイオ系企業とのウェットラボ施設「ｻｲﾊﾞﾆｸｽ医療ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝﾍﾞｰｽA」
・隣接地（約1.1ha）は（仮称）サイバニクスB棟を建設予定
・心臓線維芽細胞等による再生医療のメトセラ社と資本業務提携（2022.6）

島津製作所 Shimadzu Tokyo Innovation Plaza
2022.10開業等 約1.0ha
・国内外の顧客や近隣の研究機関とともに、先端分析手法の開発およびSolutionの提供、共同研究推進、さらには国際的な学会や学術会議、セミナーを招聘して、新たな知の創造・交流空間を目指す。

ｼﾞｮﾝｿﾝ・ｴﾝﾄﾞ・ｼﾞｮﾝｿﾝ 東京ｻｲｴﾝｽｾﾝﾀｰ 2014.8開業等 約 0.3ha
・医療従事者向けの先進的医療機器の安全使用に関するトレーニングを提供する施設。病院の手術室や検査室を再現した環境で実践的なトレーニングを行うことで安全かつ高度な医療の提供を支援。

多摩川スカイブリッジ 2022年3月開通

KING SKY FRONT（殿町3丁目地区）

KING SKYFRONT（殿町3丁目地区）

日本ｱｲｿﾄｰﾌﾟ協会 川崎技術開発ｾﾝﾀｰ（JRIA）
2017.6開業等 約1ha
・アイソトープ（放射線源、放射性試薬等）製品の試験・研究開発、供給関連業務、普及啓発などを実施

リサーチゲートビルディング（RGB3）
2021年1月運営開始　約1.2ha
・4階建ての研究施設（レンタルラボ）
・「東亞合成」等が入居

リサーチゲートビルディング（RGB4）
2023年11月運営開始　約1.3ha
・4階建ての研究施設（レンタルラボ）

日本ﾒﾄﾛﾆｯｸ ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ 2017.9開業 約0.7ha
・医療従事者向けに、多様化する医療機器を用いた手術・治療手法を安全かつ適正に実施していただけるよう、手技トレーニング、シミュレーショントレーニング、各種セミナーなどのプログラムを提供する施設。

ライフイノベーションセンター（LIC） 2016.4開業等 約0.8ha
・再生医療関連の研究開発拠点として神奈川県が整備
・「(株)ONODERA GT Phama」「アズワン」「大阪ｻﾆﾀﾘｰ」「セラボヘルスケアサービス」「ダイダン」「同仁科学研究所」「バイオテック・ラボ」「ファーマバイオ」「三菱倉庫」「メトセラ」「理研ジェネシス」「リコー」等が入居

リサーチゲートビルディング（RGB1） 2018.3開業等
・4階建ての研究施設（レンタルラボ）
・「(株)ONODERA GT Phama」「セブン・イレブン（コンビニ）」「川崎殿町郵便局」等が入居

実中研 2011.7開業 約0.6ha
・ﾋﾄ化ﾏｳｽや世界初の遺伝子改変霊長類をはじめとする、高品質で均質かつ再性のある実験動物の開発を通じてﾋﾄの病気の研究と解明を促進し、医療の発展と人々の健康・福祉の向上に貢献
・開所70周年を迎える。（2022.6）
・藤田学園と連携・協力の推進に関する協定を締結（2022.6）
・公益財団法人実中研に法人名を変更(2024.4)

国立医薬品食品衛生研究所 2018.3運営開始 約2.7ha
・医薬品や医療機器、食品、生活環境物質等について、品質、安全性、有効性を正しく評価し、真に国民の利益にかなうように調整するための科学、レギュラトリーサイエンスの中核研究機関。
・地方衛生研究所や検疫所への指導を実施。

JSR Bioscience and informatics R&D center（JSR BiRD）
2021.7開業等 約0.3ha
・JSRグループのライフサイエンス研究の深掘りと社会実装、インフォマティクスの強化、オープンイノベーション促進を3本の柱として、未来に向けた価値の創出に取り組む。

ANA殿町ﾋﾞｼﾞﾈｽｾﾝﾀｰ 2011.4開業等 約 0.3ha
・羽田空港を出発するANAの国際線・国内線の機内食製造・配送、ANAｸﾞﾙｰﾌﾟのｵﾌｨｽ等の複合施設

SBカワスミ本社 殿町ﾒﾃﾞｨｶﾙ研究所（MediSky） 2021.10開業 約0.4ha
・医療現場の想いと技術をつなぎ、医療の未来につながる革新的医療機器を世界に発信するSBカワスミの本社・研究開発拠点
・住友ﾍﾞｰｸﾗｲﾄの医療機器事業を継承、社名を「川澄化学工業」から「SBカワスミ」に変更、本社・殿町ﾒﾃﾞｨｶﾙ研究所を殿町に開業(2021.10)

ｸﾘｴｰﾄﾒﾃﾞｨｯｸ 2016.6開業等 0.3ha
・シリコーン製カテーテルを中心に各種医療機器の素材や技術の研究開発に取り組むとともに、オリジナリティ溢れた技術と医療の現場に寄り添った製品開発を実施。

ﾍﾟﾌﾟﾁﾄﾞﾘｰﾑ 2017.8開業等 約0.5ha
・独自の創薬開発ﾌﾟﾗｯﾄﾌｫｰﾑｼｽﾃﾑであるPDPS(Peptide Discovery Platform System)を用いた特殊ペプチドによる創薬研究開発を国内外の製薬企業と実施。
・富士通、みずほｷｬﾋﾟﾀﾙ、竹中工務店、ｷｼﾀﾞ化学と、新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽ感染症治療薬の開発を目的とした合弁会社ﾍﾟﾌﾟﾁｴｲﾄﾞを設立（2020.10）
・富士ﾌｲﾙﾑ富山化学㈱の放射線医薬品事業の承継会社の全株式取得・子会社化(2021.9)
・隣接地（約1.2ha）は2021年9月に土地取得し、本社・研究所の増設予定

ﾖﾄﾞﾊﾞｼｶﾒﾗ ｱｯｾﾝﾌﾞﾘｰｾﾝﾀｰ 2005.5開業等 14.9ha
・首都圏などﾖﾄﾞﾊﾞｼｶﾒﾗ店舗への配送業務等を行う物流ｾﾝﾀｰ